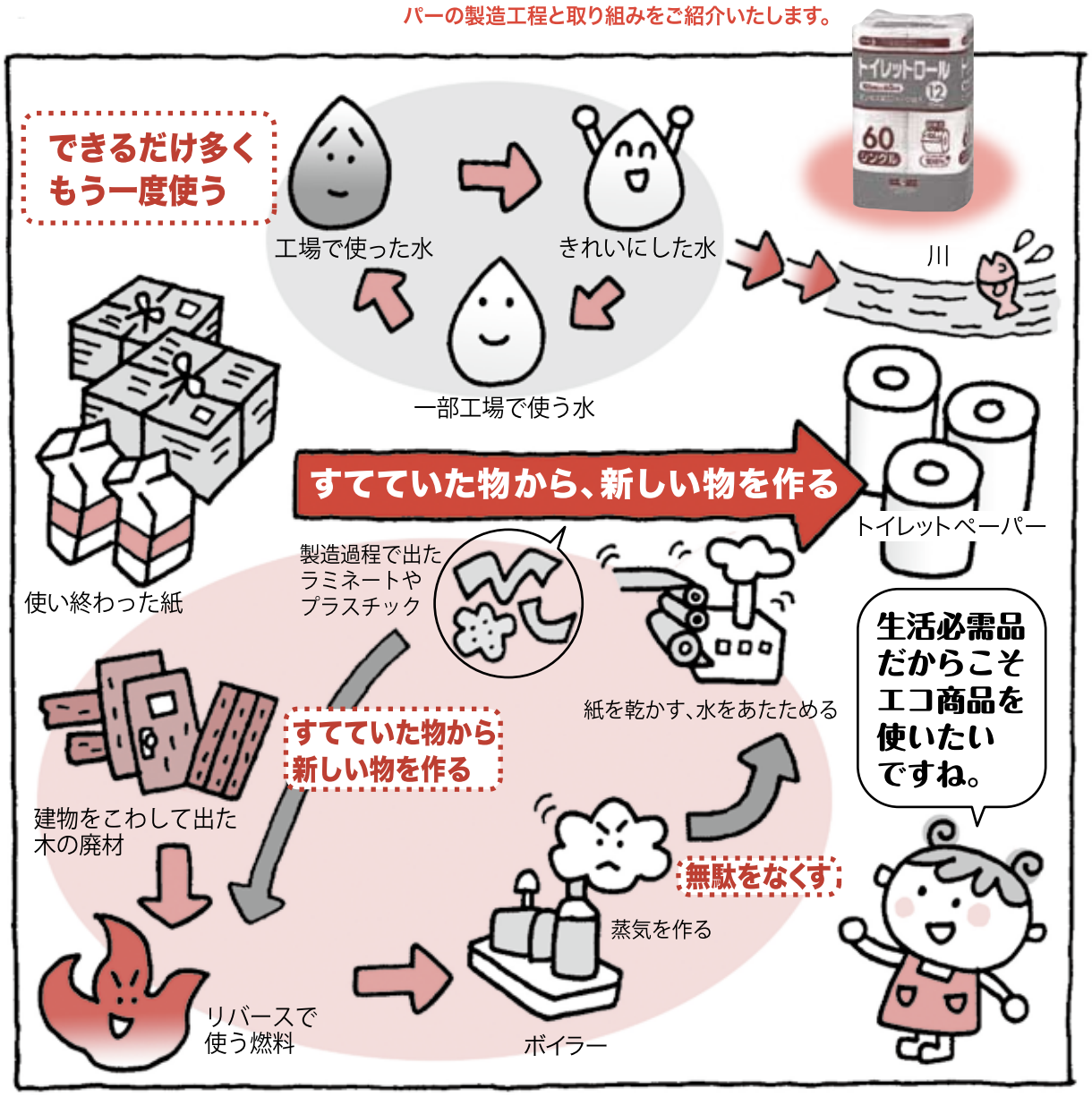
環境月間プロジェクト

リサイクルトイレットペーパー リバース工場見学

毎日使っているものだからこそ、商品のことを知り、日々のエコ活動に役立てたい

8月19日(木)、環境月間プロジェクト主催で、泉南市にある株式会社リバース工場見学バスツアーに行ってきました。

社名のリバースとは、『リサイクル事業で地球を人が住みやすい豊かな環境に再生(リバース=再び生まれ変わる)』という意味を込めて社名にしたそうです。無駄のない・環境を考えたリサイクルトイレットペーパーの製造工程と取り組みをご紹介いたします。



■株式会社リバース

業務内容:
オフィス古紙・機密文書リサイクル
トイレットペーパー製造・販売

巨大な原料ストックヤードにびっくり!

関西初の「ゼロミッション」工場

生活の中で、毎日たくさんの紙が消費されています。古紙となったそれらの紙を安全な方法で生活必需品であるトイレットペーパーへリサイクルします。また製造過程で出た廃棄物をエネルギー原料として活用し、廃棄物ゼロにすることを目的とした工場です。

リバースが 地球のために考え実行していること

いらなくなった紙を使ってトイレットペーパーを作る

使い終わった古紙や今まで捨てるしかなかった種類の紙も作りなおして使えるようにしました。

工場から出る空気を汚さないために

古紙をリサイクルする過程で窒素化合物やダイオキシンなどをいろいろな方法できれいにしています。

水を汚さないために

トイレットペーパーを作るためにはたくさんの水を使います。リバースは使いおわった水をきれいな水に作りなおして工場から外に出すようにしました。

すてるものはできるだけ少なく

古紙を再利用するのはもちろん、リサイクル過程で出る廃材や建物などを解体して出た木のゴミなど今まで捨てるしかなかった物を工場を稼働する燃料に変えて再利用しています。

NEWS FILE

ニュースファイル

【商品活動委員会工場見学 み~るクラブ試食会開催】

商品活動委員会主催

9月16日(木) 場所:ライスフレンド株式会社

日々おいしいごはんを堪能するため、精米工場に行って学んできました

日本の食卓に欠かせないお米。今回委員会メンバーと行政区委員合計18名で大東市の精米工場に行き、ご飯食のすばらしさについて学んできました。工場はふんわりとお米の香りがほのかに漂い、「お米ってこういう香りだったんだ」と、毎日お米の袋を開けた時の香りがお米の香りだと再認識しました。工場は普通米と無洗米の工場に分かれており、工場に入る前に異物混入を防ぐため、ピアスや指輪などアクセサリーを取り、不織布でできた丈の長い上着と髪が出ないように帽子をかぶって工場内に入りました。機械音の中、精米の手順説明がありましたが、機械自体は精米中に異物が混入しないように、全てが一体化しているので、各工程での精米状況がわかりませんでしたが、それだけ安心安全な精米が行われている事を実感しました。お米の学習については、精米工程から日本で現在起こっている稲作・米問題まで幅広くお話があり、改めて日本文化とお米について考えさせられました。またおいしいお米を炊く方法では①無洗米は1~2回洗って一粒づつ水に全面が濡れている状態にすること。②おいしいお米の水温度は5度ぐらい。③白い粒の米はもっちり仕上げになるので取り除かない。④お米は1時間水につけておくと一番おいしいなど、目から鱗のお話しばかりでびっくりの連続でした。帰りのバスの中ではお米の炊き方を改めようとの声が多く上がりました。

プロならではの説明に聞き入る一同

清潔ですっきりした工場内に感心

9月7日(火)~30日(木)

各み~るクラブで秋のおすすめ商品の試食会を開催

毎年、各行政区のみ~るクラブにて、秋から商品案内にのるコープきんき商品について開発側と意見交換をする場として『秋のおすすめ商品の試食会』を開催しています。今年も10会場で行われ、今回は惣菜の試食が多くあり、「色々と味が見れて良かった」「お弁当にあと一品欲しい時に使えそうなものが多くて、どれもおいしかったです」「ふだん煮ものをつくるのは難しいので里芋などは子どものお弁当に使いたい」「カタログではわからない味や量がわかり購入しやすくなった」との声が寄せられました。

各み~るによって違う商品をいろいろお試ししました

皆さん次々食べて味を確認…